



ちゃんと知りたい「脂質異常」

血液に含まれるコレステロールや中性脂肪などの脂質の量が基準値よりも高すぎる、もしくは低すぎる状態を「脂質異常」といいます。脂質が持っている役割を正しく知ったうえで、脂質異常を予防しましょう。

静かに忍び寄る脂質異常に注意！

脂質は身体にとっては欠かせないものですが、血液中に余分な脂質が多くなると動脈硬化を起こしやすくなり、心筋梗塞や脳卒中などのリスクが高くなってしまう。時には命を奪われる危険性があるのに、脂質異常の自覚症状はほとんどないため、健康診断などで数値をチェックするのが重要になってきます。下表のいずれかに該当する場合、脂質異常に該当します。

細分化された基準で診断が明確に。

LDLコレステロールは全身にコレステロールを運ぶ役割を持っており、HDLコレステロールは余分なコレステロールを回収する役割があります。このため、LDLが多すぎると動脈硬化のリスクが高まるので「悪玉コレステロール」と呼ばれています。HDLが低すぎ

食事から摂る脂肪分のほとんどは中性脂肪で、他のエネルギーが十分ある時はそのまま身体に蓄えられます。タンパク質や糖質などの栄養素も、すぐに使われなかったものは中性脂肪に形を変えて身体に蓄積されます。中性脂肪は、食べ物が補給できない時に活用される備蓄用のエネルギー源なのです。他にも、体温維持や内臓の保護・固定などの役割も担っています。

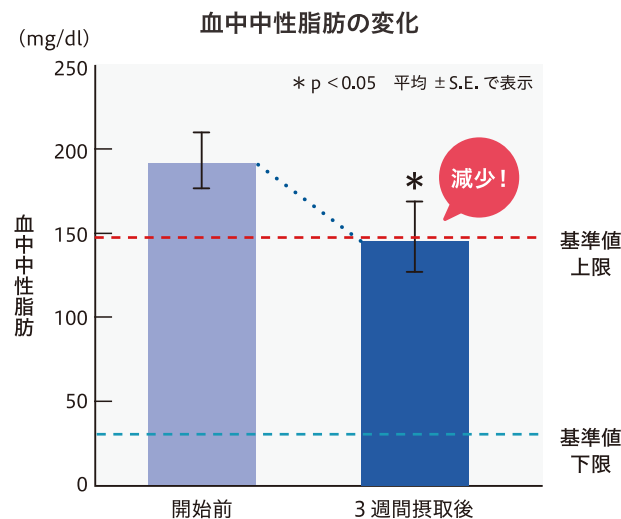
気を付けたい「第3の脂肪」。

中性脂肪は、蓄積される場所によって「皮下脂肪」「内臓脂肪」と呼び方が変わります。さらに最近、第3の脂肪として注目されているのが「異所性脂肪」です。異所性脂肪とは、皮下脂肪としても内臓脂肪としても溜め切れなかった中性脂肪が、本来溜まるはずのない心臓や肝臓などの臓器や筋肉などに溜まったもので、内臓脂肪と同様のリスクが高まるといわれて

試験で実証！

血中中性脂肪が減少！

弊社『品質保証・研究開発室』で、脂質異常の患者（男性5名）が高麗人参粒を1日2.7g、3週間継続で摂取する試験を行ったところ、血中中性脂肪の値が低下しました。



※高麗人参粒（紅参粉末+紅参熟成エキス粉末）を粒にしたもの

高麗人参で脂質異常対策を！

脂質異常の人が高麗人参を摂取すると、LDLコレステロールや中性脂肪が低下し、HDL

います。また、見た目では蓄積の度合いがわかりにくいため、自覚しにくい点が問題とされます。脂質異常を予防する上では、気を付けておきたい脂肪です。

コレステロールが上昇することが示唆されています。また、高麗人参に含まれる有用成分ジンセノサイドには、脂質の過剰な吸収を阻害する働きがあるのです。さらには肝臓に働きかけて脂質の排出を促します。弊社『品質保証・研究開発室』が行った試験においても、高麗人参の摂取によって中性脂肪値が低下したことが実証されました。

※ 脂質異常の診断基準（空腹時採血による数値）

LDL コレステロール	140mg/dL 以上	高 LDL コレステロール血症
	120 ～ 139mg/dL	境界域高 LDL コレステロール血症
HDL コレステロール	40mg/dL 未満	低 HDL コレステロール血症
トリグリセライド (中性脂肪)	150mg/dL 以上	高トリグリセライド血症
Non-HDL コレステロール	170mg/dL 以上	高 non-HDL コレステロール血症
	150 ～ 169mg/dL	境界域高 non-HDL コレステロール血症

※「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022年版」をもとに作成

身体に欠かせない中性脂肪。

コレステロールからHDLコレステロールを除いたもので、血管の詰まりなどのリスクを管理する指標となります。どの数値も、基準をはずれたからといって即、病気を示すものではありませんが、日々の生活を見直し、改善するきっかけとして活用したいものです。

中性脂肪は、増えすぎは良くありませんが、単なる患者ではなく、身体にとって必要不可欠なエネルギー源の1つです。

